



あさお インフォメーション
Information

保護者・地域の皆様へ
神奈川県立麻生養護学校
令和2年10月30日発行

新型コロナウイルス感染症の感染蔓延対策のため、かつて経験したことがない令和2年度、新しい生活様式の中で教育活動が始まり、あっという間に10月が終わったようにも感じます。このような状況の中で児童生徒は、教員の予想を超える力を発揮しています。新しい生活様式、例えばマスク着用が少しずつできるようになった児童生徒や、給食の時間にお話ししないで静かに食べる、いつも他の人とは少し離れる、など、自分の行動をコントロールできるようになった児童生徒がたくさんいます。またほとんどの児童生徒がICT機器を活用した授業や、これまでとは違う授業体制もスムーズに受け入れて、しっかり授業に参加しているのです。何人もの教員が「やはり子どもたちは力を持っているのだと再認識した」と話してくれました。

コロナ禍にあっても、麻生の丘にある校舎で、これまでの実績を振り返り、検証し「学びの保障と感染対策」の両立を新たな機会ととらえ、学校全体で日々丁寧にそして大切に教育活動を行ってまいります。
校長 片平弘美

★児童生徒の活動の様子★

紙すき葉書を作り、お世話になっている方にお礼のメッセージを書きました。「ひまわり郵便」として、施設の方にお届けしました。お礼を言われて嬉しかったです。
(土谷)



ひまわり

9月の晴天の日、教室前で水遊びをしました。子どもたちは水遊びが大好き。水面をたたいたり、アヒルを浮かべたり、水鉄砲を発射したりで歓声が響きました。
(岩田)



A 小学部

★安心して学校生活を送るために★

今回は子どもたちの大好きな「給食」を支えてくださっている人たちにインタビューしました。



いつもみんなの健やかな成長を考え献立を作っています。必要な栄養素を摂ってぐんぐん大きくなってほしいです。

給食の様子を見に行くと、食べたい物のリクエストをもらったり、その日の給食について感想をくれたり、嫌いなものを一生懸命食べてくれていたり、感動することも多く、毎日の私の楽しみになっています。これからもおいしい給食を作っていきたいと思います。

(栄養職員 森山)



麻生養護学校創立以来ずっと子どもたちの給食作りに携わってこられた富井さんにお話を伺いました。

Q1. 本校の調理員さんになって何年ですか？

A. 15年です。

Q2. お仕事で嬉しい事、大変な事は何ですか？

A. 「おいしい！！」と言ってもらえることが本当に嬉しい。大変とはあまり思いません。

Q3. みんなへのメッセージをお願いします！

A. 「みんな～、調理員さんが一生懸命作ってくれているので、残さずいっぱい食べて大きくなってください！」

